



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道における日本ナザレン教団の教会建築について : 礼拝室と固定席の床面積的考察
Author(s)	千里, 政文
Citation	基督教学, 25, 18-24
Issue Date	1990-07-05
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/46484
Type	journal article
File Information	25_18-24.pdf



北海道における日本ナザレン教団 の教会建築について

——礼拝室と固定席の床面積的考察——

千里 政文

一 はじめに

本稿での教会の建築面積については牧師館を含めない建築床面積を基準にしているが、牧師館であっても教会との共用部分の場合は面積に含んで扱う。

今回は教会建築と教派の関係について特徴をみいだすために、日本ナザレン教団とその他のプロテスタント教会を比較しながら、又「固定席（信徒収容人数）に対する礼拝室の割合」を中心にし、日本ナザレン教団（以下ナザレンと略）の特徴を考える。

研究方法は北海道に現存する二十八棟の教会を実測調査し、教会建築の床面積を明確にして、信徒席などの構成要素をも明らかにした、各種のデータを表1にまとめ、

考察を行う。

二 道内における調査対象教会の現状（二十八教会）

△二十八教会の固定席数と礼拝室床面積の割合▽

固定席数と礼拝室床面積の割合を二十八棟の教会建築から見ると、九十九席以下の教会では一席あたり一㎡以上であるのに対し、一〇〇席以上二九九席以下では一席あたり一㎡以下となった（注1）。

すなわち、固定席数に対する礼拝室床面積の割合は、一〇〇席で一席当り一㎡に近くなり、このことから「一〇〇席以上か以下かを基準に一席あたり一㎡以上か以下」に分かれると考えられ、固定席に対する礼拝室床面積の割合は固定席数との相関関係がみられる。

△四教派の床面積、固定席▽

平均床面積をナザレンと、日本基督教会、日本基督教団、日本聖公会（以下日本を略）を比較検討すると、教会延床面積が大きい順に基督教会、基督教団、聖公会、ナザレンとなった。

固定席数に対する礼拝室の割合、すなわち一席に対して礼拝室床面積が何㎡の現状かをみると、大きい順

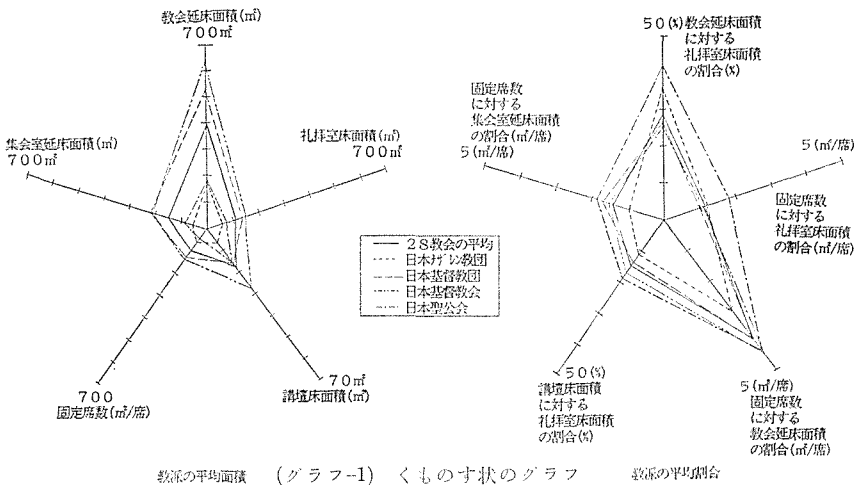
(表-1) 調査対象教会の床面積・固定席数の現状 (28 棟, 1989 年調べ)

教 派 別	教 会 名	建築年代	信徒数	教会延床 床面積	礼拝堂 床面積	隣壇 床面積	固定席数 (人数)	集会堂延床 床面積	教会延床 床面積	礼拝堂 床面積	教会延床 床面積	隣壇 床面積	教会延床 床面積
日本メソヂン教団	聖 園 教 会	S.44	13	125.43	25.92	3.00	24	42.12	20.66	1.08	5.23	11.57	1.76
日本メソヂン教団	旭川 教会	S.58	51	239.94	108.81	8.64	48	88.31	45.35	2.27	7.94	1.84	1.84
日本メソヂン教団	上 戸 別 教会	S.27. 8	36	91.53	58.86	9.72	48	14.18	64.31	1.23	1.91	18.51	0.30
日本メソヂン教団	弟子 屈 教会	S.27	20	121.32	51.30	9.72	48	19.44	42.28	1.07	2.53	18.95	0.41
日本メソヂン教団	札幌 教会	S.25	189	317.55	93.87	9.00	112	131.76	29.56	0.84	2.84	9.59	1.18
日本メソヂン教団	均			179.15	67.75	8.02	56	59.16	40.43	1.30	3.50	12.91	1.09
日本基督教教会	遠 経 教 会	S. 6	139	263.43	115.29	38.48	56	84.15	43.76	2.06	4.70	33.37	1.50
日本基督教教会	美 深 教 会	S.49	45	298.00	81.00		60	130.15	27.18	1.35	4.97	13.89	2.17
日本基督教教会	旭川 教会	S.46	181	227.88	98.43	34.75	80	85.17	43.19	1.23	2.86	35.30	1.06
日本基督教教会	北 見 教 会	S.44. 6	213	411.48	111.78	14.58	96	179.01	27.17	1.16	4.29	13.04	1.86
日本基督教教会	函館相生教会	S.62.11	180	740.12	167.13	17.01	212	230.59	22.58	0.79	3.94	10.18	1.09
日本基督教教会	札幌北一条教会	S.54. 6	665	1753.96	370.16	53.07	323	600.32	21.10	1.15	5.43	14.51	1.86
日本基督教教会	均			615.81	157.30	28.29	138	218.23	30.83	1.29	4.29	20.05	1.59
日本基督教教会	旭川慈愛教会	S.34	81	281.88	71.35	13.50	54	135.09	25.38	1.33	5.22	18.87	2.50
日本基督教教会	北見早々正	S.73	29	244.16	122.08	0.00	60	112.82	50.00	2.03	4.07	0.00	1.88
日本基督教教会	真 駒 内 教会	S.39. 8	69	136.00	70.86	0.00	64	19.91	52.10	1.11	2.13	0.00	0.31
日本基督教教会	名 寄 教 会	M.42	63	276.62	81.41	12.96	70	106.83	29.43	1.16	3.95	15.92	1.53
日本基督教教会	岩見沢教会	S.26.10	42	264.06	87.48	8.91	97	55.08	33.13	0.90	2.72	10.19	0.57
日本基督教教会	常 広 教 会	S.51	69	386.00	110.57	17.33	108	143.00	30.29	1.02	3.38	15.67	1.32
日本基督教教会	函館千段教会	S.50.12	94	639.00	113.16	18.50	119	97.97	33.73	0.95	2.82	16.42	0.82
日本基督教教会	細 路 教 会	S.44	47	639.00	132.30	12.60	150	272.20	20.70	0.88	4.26	9.52	1.81
日本基督教教会	函 館 教 会	S. 6	172	600.00	129.48	9.72	155	188.88	21.58	0.84	3.87	7.51	1.22
日本基督教教会	札幌北光教会	S.43.12	239	2,035.00	480.00	78.00	420	1,100.00	23.59	1.14	4.55	16.25	2.62
日本基督教教会	均			617.72	139.89	17.16	130	223.18	31.99	1.14	3.73	11.03	1.46
日本基督教教会	美幌聖マリア教会	S.41	43	121.50	70.2	9.72	30	30.915	57.78	2.34	4.05	13.85	1.03
日本基督教教会	旭川聖ヨハネ教会	S.62	138	147.42	93.15	20.25	48	76.41	63.19	1.94	3.07	21.74	1.59
日本基督教教会	函館聖ヨハネ教会	S.54.11	190	335.00	91.18	19.66	60	155.86	27.22	1.52	5.58	21.55	2.60
日本基督教教会	均			201.31	84.84	16.54	46	87.73	49.39	1.93	4.23	19.05	1.74
日本メソヂン教団	函 館 教 会	S.32.12	121	434.24	88.17	12.29	112	172.61	20.31	0.79	3.88	13.93	1.54
日本メソヂン教団	平 均			431.24	88.17	12.29	112	172.61	20.31	0.79	3.88	13.93	1.54
日本基督教教会	登別中央福音教会	S.40. 5	29	99.61	53.94	6.76	48	20.73	54.15	1.12	2.08	12.53	0.43
日本福音ルーテル教会	平 均			99.61	53.94	6.76	48	20.73	54.15	1.12	2.08	12.53	0.43
日本福音ルーテル教会	函 館 教 会	S.32. 9	87	126.36	48.60	0.00	32	40.32	38.46	1.52	3.95	0.00	1.26
日本福音ルーテル教会	平 均			126.36	48.60	0.00	32	40.32	38.46	1.52	3.95	0.00	1.26
北海道福音教会協議会	函館花園教会	S.53. 6	74	226.80	96.39	0.00	91	51.84	42.50	1.06	2.49	0.00	0.57
北海道福音教会協議会	平 均			226.80	96.39	0.00	91	51.84	42.50	1.06	2.49	0.00	0.57
教団教派 (28 教会)	全教会の平均			462.10	115.11	16.08	101	156.63	36.10	1.28	3.77	13.53	1.38

四教派の床面積・固定席の關係（ナザレンを中心として）V

すなわち、講壇床面積と礼拝室床面積の關係に特徴がある事がわかる。

以上の事から調査対象教会は、固定席数によって礼拝室床面積が異なっており、教派による違いにおいて、固定席数に対する礼拝室床面積の割合が、図―1よりナザレンで一、三〇㎡となり、二十八棟の教会の平均（一、二八㎡）に近く、そしてナザレンとの割合が最も違っていたのは日本聖公会の一、八四㎡であった。



三道内における日本
ナザレン教団の教
会建築について

△教団及び道内教会の
沿革▽

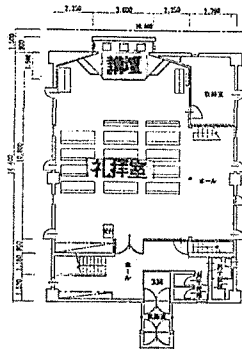
ナザレン教会は一八
五五年カルフォルニア
州ロサンゼルスで米国
メソジスト監督教会よ
り分離したB・F・ブリ
ージャー、J・B・ウッ
ドニー両氏を中心に一三
五名の創立会員をもつ
てナザレン教会が結成された。

日本でのナザレン教会は一九〇五年（明治三十八年）
「キリストのホーリネス教会」所属のミス・ウイリアム
師、ミス・ブル師が伝道のため来日し、二年の東京伝
道ののち、京都に移り伝道を開始した。

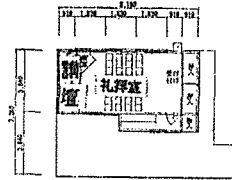
一九〇八年（明治四十一年）「キリストのホーリネス教

(図一) 北海道における日本ナザレン教会（平面）

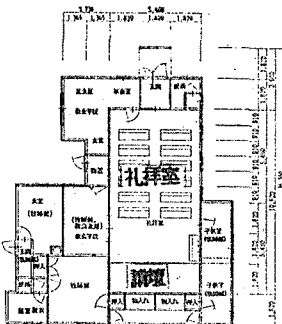
旭川教会



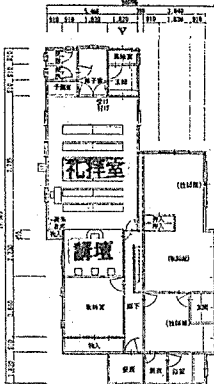
室蘭教会



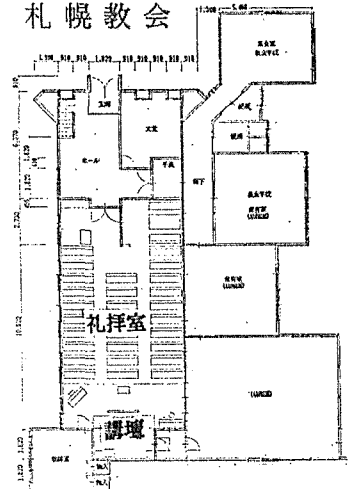
上芦別教会



弟子屈教会



札幌教会



会」がナザレン教会と合同したことにより、日本における最初のナザレン教会の動きとなり、一九一〇年（明治四十三年）シュノルト宣教師によって京都で伝道が開始され、一九二四（大正十二年）年京都で日本本部会を組織するに至った。

その後、一九四一年（昭和十六年）日本基督教団に加え、一九四七年（昭和二十二年）ウイリアム・エコール氏を総理として発足し、現在の本部は東京都目黒区にある。

北海道の日本ナザレン教団は、昭和二十五年頃に札幌市で伝道が開始され、教会と同時に会堂が建築された。

その後、上芦別、弟子屈、旭川、室蘭の各教会の順に教会が建築され、旭川教会においては昭和三十三年に最初の会堂を建て、その後昭和五十八年に建替えて現在に至る。

△教会建築の現状▽

道内におけるナザレンは五教会あり、分布状況は室蘭市、札幌市、芦別市、旭川市、弟子屈町に一教会ずつ現存している。

ナザレンにおける教会建築の平面形態の現状で特徴のある教会を次に示す（図一―一）。

室蘭の教会では別棟に教会学校などの集会室があり、札幌教会だけが教会に幼稚園が付属しており、牧師館が教会から離れているが、他の四教会では牧師館が教会の建築物内にあるため、教会と牧師館を共用で使用している部屋もある。

△ナザレンの床面積、固定席と礼拝室の規模▽

教会延床面積の広い順に

・札幌、旭川、室蘭、弟子屈、上芦別の各教会
礼拝室床面積の広い順に

・旭川、札幌、上芦別、弟子屈、室蘭の各教会
固定席数の多い順に

・札幌、旭川・弟子屈・上芦別、室蘭の各教会
集会室床面積の広い順に

以上の現状となったが、教会延床面積が最も広いのが札幌教会であるのに対し、礼拝室床面積では旭川教会となるなど、各教会によって床面積や固定席数の割合がまちまちである。

この理由は、いずれの教会も教会会員数の増減に影響され、建築後に増改築がなされたためと考える。また、建築当時から現在までの、市や町の人口の変化（例、芦

別市の人口では六万五千から二万五千人減少）も、会員数の面から関係しているのではないかと考える。

四 礼拝室におけるナザレン教会の形態的特徴

以上の事から、北海道における日本ナザレン教団の教会建築の特徴は、他の教派（基督教団・基督教会・聖公会）とくらべると、

第一に「講壇床面積が他の教派より少ない」

第二に「教会延床面積に対して、礼拝室床面積が多く取られている」

第三に「固定席数に対し礼拝室床面積が広い」という現状であった。

これらの第一の理由としては、講壇床面積を考えてみると、儀式中心か説教中心かによって左右されると考えられるが、教会の儀式的要素（洗礼水槽、聖餐卓、他）が中心になると講壇に儀式用の空間が多くなり、説教などが中心で儀式にあまりこだわらなければ、講壇は説教する者の空間だけが必要となり、講壇部分の床面積は狭くなると考えられる。

この事からナザレンでは、儀式中心と言うよりも、説教が中心であるため講壇部分の床面積が少ないと考えられる。

第二、三の理由として、収容人数が少ないため、集会所やその他の施設が少なくてすみ、逆に一人に対するブリックススペースは反比例的に多く必要となる事は一般的な傾向であるが、むしろブリックススペースを広く取る事により、礼拝室を多目的に使用し、礼拝室を集会の場合などに行っているものと考ええる。

五 おわりに

今回は、北海道に現存する二十八棟のプロテスタント教会から、道内における日本ナザレン教団の教会建築の特徴について考察を行なった。

したがって、日本ナザレン教団の全国的な傾向とは言い切れないが、今後さらに、道内のプロテスタント教会の調査を進め、より正確に教会建築の現状について研究を行ない、全国的な傾向へと発展させる。

(1) 注

調査対象教会の中に、九十七席及び一〇八席の教会建築が、各一棟ずつあったが統計処理上特異例となり、ここでは除外した。